

50回の節目OB・OGと

名古屋で29日定演

愛教大混声合唱団



合同リハーサルに励む愛知教育大混声合唱団の現役団員とOB・OGたち＝刈谷市北部生涯学習センターで

OB・OGとの合同ステージも企画し、五十回の記念演奏会には現役部員四十人と二十〜七十代のOB・OG八十人が参加する。

演奏会は四部構成。一部は現役団員によるステージで、三部では時代の流行歌に合わせ、ミュージカル形式で五十年の歴史を振り返る。四部がOB・OGとの合同ステージ。OB会長で教員山田達也さん(三六)＝豊明市＝は「若い方と一緒にになって歌うのは価値のあること」と笑顔を見せる。

五十年の歴史の中で、変わらず歌い続けられているのは校歌。リハーサルの発声練習にも使われ、演奏会の幕開けにも披露される。

教育学部三年の島田宗幸団長(三三)は「活躍されたOB・OGの皆さんと一つのものをつくれるのはうれしい。精いっぱい歌いたい」と意気込んだ。

午後五時半開演。入場料は七百円(未就学児無料)。(森本尚平)

刈谷市の愛知教育大混声合唱団の第五十回記念定期演奏会が二十九日、名古屋・栄の県芸術劇場コンサートホールで開かれる。半世紀の節目に、現役団員とOB・OGが美しい歌声を響かせる。二十三日には刈谷市北部生涯学習センターで、合同リハーサルに臨んだ。